

今週のビルマのニュース
2009年5月22日【0920号】

今週の主なニュース：スーチー氏の公判始まる

・民主化指導者アウンサンスーチー氏の公判が18日、インsein刑務所の特別法廷で始まった。検察側の証人約20人が順番に証言している模様。軍政は20日に外交官や報道機関に裁判を公開し、数十人の外交官らが傍聴した。また、ロシア、タイ、シンガポールの外交官が公判後にスーチー氏と面会した。再び非公開となった21日の公判では、スーチー氏宅に侵入した米国人イェトー氏がスーチー氏宅で撮影したビデオ映像が上映された(22日付ロイター)。

・中曽根外務大臣は18日、軍政のニャンウィン外相と電話会談を行い、スーチー氏の訴追は「国内の司法プロセスの問題」だが、軍政が2010年に実施を予定している総選挙への「関係国の評価に大きな影響を与えるものであり」深く懸念していると述べた。

・政治囚として19年間獄中で過ごし、昨年釈放された国民民主連盟(NLD)幹部のウィンティン氏が朝日新聞に投稿し、日本政府がビルマでの総選挙の実施を望んでいることに懸念を表明した上で、「国際社会は総選挙を支持する前に、国民和解に向けた対話をするよう軍政に最大限の圧力をかけてほしい」と述べた(17日付朝日新聞「私の視点」)。

・国連の潘基文事務総長はCNNに対し、ビルマの状況について「受け入れがたい。なるべく早くビルマを訪問するつもりだ」と述べた(21日付ロイター)。

・日本の「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」(会長=大島理森衆議院議員)は20日、スーチー氏の訴追に強く抗議する声明を発表し、外務省に申し入れた。

【背景】軍政は14日、突然訪れた米国人男性を家に入れたことが来客を禁じる自宅軟禁の規則に違反したとして、スーチー氏を起訴した。起訴の背景には、来年予定の総選挙を前に国民の支持を集める氏の拘束期間を延長したいという軍政の政治的動機があり、有罪判決(最長禁固5年)が出るとの見方が大勢。

その他：米国が制裁を延長、EUも強化を検討

・オバマ米大統領は15日、ビルマに対する経済制裁を1年間延長した(15日付AFP)。

・EUのソラナ共通外交・安全保障政策上級代表は「今は(対ビルマ)制裁を軽減するのではなく、強化するべきときだ」と述べた(18日付ロイター)。

・米国のハーバード・ロースクールは21日、ビルマで起きている性暴力・強制退去・拷問・超法規的処刑などの人権侵害が人道に対する罪や戦争犯罪に該当する可能性があることを、多数の国連文書が明確に示しているとする報告書を発表した。報告書は、国連安保理がこの問題について調査委員会を設けることを勧告している(21日、同ロースクール)。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

新たな発表はなし。

イベントなど

・上智大学アジア文化研究所公開講演会『難民キャンプの人類学：タイ・ビルマ国境カレンニー難民キャンプから』講師：久保忠行(神戸大学大学院・日本学術振興会特別研究員)(上智大学2号館5階510会議室、22日18時～)

・メータオ・クリニック支援の会 現地看護師帰国報告会(JICA地球ひろば202号室、23日17時～)

・アウンサンスーチー氏起訴へ抗議 スーチー氏と全ての政治囚の釈放を求めるデモ行進 在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか(恵比寿公園、24日15時集合、16時出発) *パフォーマンス有り

・国民民主連盟(NLD) 総選挙勝利記念緊急集会・デモ行進 NLD(解放地域)日本支部主催(港区六本木 三河台公園、27日14時集合、15時出発)

・日本ビルマ救援センター 月例ビルマ問題学習会 講師：宇田有三(大阪ボランティアセンター、29日19時～)

・【日程変更】第57回ビルマ市民フォーラム例会 最新のビルマ情勢報告(仮題)：根本敬、秋元由紀(池袋・ECOとしま8階、6月13日18時～)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165

今週のビルマのニュース 5月22日 (0920号)

作成：ビルマ情報ネットワーク

協力：ビルマ市民フォーラム

Eメールでの受信をご希望の方は、yuki@burmainfo.orgにご連絡ください。